

看護師を目指し 123人誓いの言葉

戸田中央看護学校で戴帽式

戸田中央医科グループ(戸田市本町、中村隆俊会長)が運営する戸田中央看護専門学校(中村毅校長)の本年度「戴帽式」が11日、川口市の総合文化センターで行われた。

戴帽式は、入学してから一定期間、看護の基礎を学び、看護師の資質があると認められた学生が、看護の象徴であるナースキャップを与えられる儀式。同校では1977年の開学以来、実施しており、この日は看護学科23期生123人が戴帽の儀に臨んだ。

ナイチンゲール像を舞台の中心に、パイプオルガンの音色が静かに鳴り響く幻想的な雰囲気の中、一人一人壇上でナースキャップをかぶせら

れ、ナイチンゲールの心を受け継ぐキャンドルをともした。

式辞で中村校長は「これから始まる基礎実習では実際に患者と触れ合い、教科書に載っていないことを学ぶが、患者に寄り添い、心ある看護をすることで希望の光をともすことができる。看護師を目指す気持ちは忘れず、人間性豊かな看護師になってほしい」と激励した。

学生たちは向上心、誠実、真心をキーワードに「愛し愛される看護師を目指します」とりんとした表情で誓いの言葉を述べた。



キャンドルを手に誓いの言葉を述べる看護学生ら